

大豊町の概要

位置	東経 133度37分 北緯 33度56分
面積	320.54平方町 東西 32町 南北 28町 部落数 87
人口	12,295 男 5,908 女 6,387
世帯数	3,693 (12月末現在住民基本台帳調)



昭和48年2月25日発行

全世帯配布

編集 館報大豊編集委員会
発行 大豊町中央公民館
印刷 高知印刷株式会社

一般会計決算について

46年度歳入歳出決算額

歳入決算額	650,053,605円
歳出決算額	626,904,191円
歳入歳出差引高	23,149,414円
翌年へ繰越すべき財源	3,474,000円
実質収支額	19,676,000円

昭和46年度 決算の内訳

審査の結果を公表

自主財源が乏しいにもかかわらず、四十六年度は懸案の学校給食共同調理場、奥大田分校の改築、大杉中学校寄宿舎、ゴミ処理施設、児童手当の支給、老人医療費の拡充など、又水道事業では杉地区貯水槽の新設等、画期的な幾多の事業が活発に推進されており、しかも一般、特別両会計共に黒字を以て決算された。

先づ一般会計で歳入歳出差引残高が三、一四九、四一四円となり、このうち繰越明許費(翌年度へ繰越すべき事業の財源)三、四七四千円を差引、一九、六七六千円の実質繰越額が出来たことは誠に同慶に堪えない次第である。

昭和四十六年度一般会計、特別会計の決算審査は監査員武田和夫、松岡春美両氏により実施された。その結果何れも完全に処理され、計数も正確で、又これを立証する証拠書類も完備されており、予算執行も適正であると認められた。

一般 両会計とも黒字

計数も正確、完全に処理

歳入 (単位千円)

区分	予算額	調定額	収入済額	予算に対する収入率	調定に対する収入率
1. 村税	84,854	87,658	86,340	101.75	98.50
2. 自動車重量税及び自動車取得税交付金	9,420	8,179	8,179	86.83	100.00
3. 地方交付税	280,665	280,665	280,665	100.00	100.00
4. 交通安全対策特別交付金	408	408	408	100.00	100.00
5. 分担金及び負担金	4,000	3,742	3,725	93.13	99.55
6. 使用料及び手数料	2,237	2,519	2,519	112.61	100.00
7. 国庫支出金	79,520	80,186	80,186	100.84	100.00
8. 県支出金	62,091	62,332	62,332	100.39	100.00
9. 財産収入	9,283	9,141	9,141	98.47	100.00
10. 寄付金	12,762	11,571	11,571	90.67	100.00
11. 繰入金	11,205	3,320	3,320	29.63	100.00
12. 繰越金	9,476	9,476	9,476	100.00	100.00
13. 諸収入	5,975	5,992	5,992	100.00	100.03
14. 村債	97,700	86,200	86,200	88.23	100.00
歳入合計	669,596	651,389	650,054	97.08	99.80

財政調整基金並びに国民年金印紙等購入基金の一部繰入を行なわなかったため、予算に対する収入率が若干低くなっている。

歳出 (単位千円)

区分	予算額	支出済額	予算に対する支出割合
1. 議会費	17,696	17,366	98.14
2. 総務費	114,624	112,617	98.25
3. 民生費	54,659	48,565	88.85
4. 衛生費	34,645	25,067	72.35
5. 農林水産業費	139,488	133,585	95.77
6. 商工費	1,010	897	88.81
7. 土木費	82,516	71,183	86.27
8. 消防費	14,485	14,343	99.02
9. 教育費	118,255	114,008	96.41
10. 災害復旧費	54,023	52,378	96.96
11. 公債費	36,908	36,894	99.96
12. 諸支出金	1	0	
13. 予備費	1,287	0	
歳出合計	669,596	626,904	93.62

衛生費は、ごみ処理場新設工事の一部が47年度へ繰越されたためであり、したがって執行率が若干低下となった。

財政運営については特に円多くなっているが、借入「また、昨年度の意見書で意を用いられ、歳入の確保 延日数は約百日短縮されて 費目流用措置について申しに留意し、政府資金の早期 あり、支払利子においても 上げたが、四十六年度はそ交付方に努力せられると共 十数万円減少となつてい の件数において十数件減少を示している。

六六〇万円の伸び

歳入第二位の村税

に、適切な資金計画による。これを預金利子に比較し、更に会計年度以後の流り一時借入金金の早期返済に するときは両年度共に借入金 用は皆無であることは結構 努められ、借入金累計額に 利息をはるかに上回つてい などである。

地方財政法第七条に、地

方公共団体は各会計年度に 力に推進せられるようのぞ むものである。

教育費においては、前述 のように給食共同調理場、 大杉中学校寄宿舎の新設、 奥大田分校の改築等により 昨年度に比し二、一、六六七 千円の伸びを示している。

総務費は一七〇万円の増 である。今後益々増高する である。

▼晩秋蚕繭は連続日本一 昨年引続き再び日本一 の成績をおさめたが、 調整をしたいと思います。

▼明るさを増した蚕繭 繭質改善の成果はスバリ 所得の向上につながり、今 後の養蚕経営に光明を得ま した。しかしまだ繭質向上 の余地が残されておりま す。

例えは晩秋蚕繭の最高値は 一、一、三、七、七、一、大豊 町の平均価格より約一〇〇

人件費、公債費、需要費等 円高くなっておりま す。

施設の改善、技術の向上、更 にお互いの協力によってこ の程度の繭質向上は充分可 能であります。過去二、三 年をもちに二、三、七、七、一、 千円を越えたいと思いま す。又しばらく低値をつづ けた繭質も、中国生糸の輸 入価格の引き上げや内需の 安定した増加によって漸く 向上の気運に向つておりま す。その上繭質改善が加算 されると今後かなりの高値 が期待されます。

本年は繭質改善に加えて経 営改善を強く進めることによつて養蚕経営の確立を固 られんことを願ひしま す。

(大豊養蚕指導所)



最近2ケ年における才入決算に於ける各款の構成比

国民健康保険特別会計決算について

1. 昭和46年度才入才出決算額

才入決算額	119,210千円
才出	108,487千円
才入才出差引額	10,723千円

上記の通り本年度は、10,723千円の黒字となっているが、しかし診療費未請求約17ヶ月分推定診療費5,000千円とのことである。これは国保運営上支障をきたすものであり、督促指導され速に整理を行なうよう留意されたい。

しかし、本年度は検診、その他において病気の早期発見、早期治療等により給付率の減少が見られる事は好ましい事である。

2. 保険税の徴収状況

(単位千円)

区分	現年度		滞納繰越分		計	
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	収入額	徴収率
44	29,105	94.28%	1,085	27.26%	30,190	86.62%
45	31,569	95.88%	904	24.07%	32,473	88.53%
46	39,922	95.70%	659	17.87%	40,582	89.37%

簡易水道事業特別会計決算

1. 昭和46年度才入才出決算額

才入決算額	7,296千円
才出	6,904千円
才入才出差引額	391千円

2. 才入才出の状況

(単位千円)

才入		才出	
区分	金額	区分	金額
水道使用料	4,159	総務費	2,011
繰入金	1,200	水道管理費	3,148
繰越金	1,937	公債費	1,744
		予備費	0
計	7,296	計	6,904

簡易水道事業特別会計の執行率は94.08%であり、昨年比に比べ14.28%の伸びを示している。杉地区貯水槽の新設等の事業を実施したにもかかわらず391千円の黒字財政であることは好ましい事である。しかし独立採算制を強く要望されている特別会計であるので、尚一層の繰入金減少が出来るよう努力を望む。

代替輸送事業特別会計決算

1. 昭和46年度才入才出決算額

才入決算額	4,454千円
才出	4,064千円
才入才出差引額	390千円

2. 歳入歳出の状況

(単位千円)

才入		才出	
区分	金額	区分	金額
県支出金	1,035	民生費	4,064
繰入金	1,326		
諸収入	2,091		
繰越金	1		
計	4,454	計	4,064

上記のような決算であり、予期以上の成果を収め、黒字財政であることは好ましい次第である。

財政事情の公表

昭和39年大豊町条例第23号(大豊町財政事情説明書の作成及び公表に関する条例)第3条第2項の規定による、昭和47年9月30日現在の財政事情は三ページおよび四ページのとおりであります。

昭和48年2月1日

大豊町長 門田 盛一郎

歳入

(単位千円)

款	45年度		46年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
1. 村税	79,732	14.0	86,340	13.28
2. 自動車重量税及び自動車取得税交付金	7,595	1.3	8,179	1.26
3. 地方公付税	235,339	41.4	280,665	43.18
4. 交通安全対策特別交付金	228	0.1	408	0.06
5. 分担金及び負担金	13,331	2.3	3,725	0.57
6. 使用料及び手数料	2,641	0.5	2,519	0.39
7. 国庫支出金	52,206	9.2	80,186	12.34
8. 県支出金	74,939	13.2	62,332	9.59
9. 財産収入	1,653	0.3	9,141	1.41
10. 寄付金	8,228	1.4	11,571	1.78
11. 繰入金	3,366	0.6	3,320	0.51
12. 繰越金	6,859	1.2	9,476	1.46
13. 諸収入	13,340	2.3	5,992	0.92
14. 村債	68,700	12.1	86,200	13.26
計	568,161	100	650,054	100

現年度の村税徴収成績状況は次の通りである。

区分	金額	
	(単位千円)	
予算額	84,854	
調定額	現年度分	86,535
	滞納分	1,123
	計	87,658
収入額	現年度分	85,963
	滞納分	377
	計	86,340
滞納繰越額	現年度分	572
	繰越分	746
	計	1,314
徴収率	現年度分	99.3%
	滞納分	33.6
	全体の徴収率	98.5 (不納欠損額 3,340円)
滞納率	現年度分	0.7
	繰越分	66.4
	全体の滞納率	1.5

(注) 徴収率は調定額に対する収入済額とする。

歳出

(単位千円)

区分	45年度		46年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比
1. 議会費	13,890	2.5	17,366	2.77
2. 総務費	95,580	17.11	112,617	17.96
3. 民生費	41,695	7.46	48,565	7.75
4. 衛生費	19,210	3.44	25,067	4.00
5. 農林水産業費	145,035	25.96	133,585	21.31
6. 商工費	2,544	0.46	897	0.14
7. 土木費	38,421	6.88	71,183	11.35
8. 消防費	12,518	2.24	14,343	2.29
9. 教育費	101,341	18.14	114,008	18.19
10. 災害復旧費	56,477	10.11	52,378	8.36
11. 公債費	29,597	5.3	36,894	5.89
12. 諸支出金	2,377	0.4	0	
13. 予備費				
合計	558,685	100.00	626,904	100.00

公営事業の経理状況

1. 昭和47年度国民健康保険特別会計予算執行状況

(単位円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収 入 率
1. 国民健康保険税	38,307,000	44,201,630	16,030,730	28,170,900	41.85
2. 使用料及び手数料	31,000	7,310	7,310	0	23.58
3. 国庫支出金	73,723,000	30,559,000	30,559,000	0	41.45
4. 県支出金	1,000	0	0	0	0
5. 繰入金	2,000	0	0	0	0
6. 繰越金	4,874,000	0	0	0	0
7. 諸収入	4,277,000	668,383	668,383	0	15.63
計	121,215,000	75,436,323	47,265,423	28,170,900	38.99

歳出の部

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支 出 率
1. 総務費	7,452,000	3,100,302	4,351,698	41.60
2. 保険給付費	108,761,000	34,626,222	74,134,778	31.84
3. 保健施設費	389,000	171,620	217,380	44.12
4. 基金積立金	1,000	0	1,000	0
5. 公債費	60,000	0	60,000	0
6. 諸支出金	4,152,000	4,067,690	84,310	97.97
7. 予備費	400,000	0	400,000	0
計	121,215,000	41,965,834	79,249,166	34.62

2. 47年度簡易水道会計予算執行状況

(単位円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収 入 率
1. 使用料及び手数料	3,786,000	1,460,585	1,403,690	56,895	37.08%
2. 繰入金	4,698,000	3,700,000	3,700,000	0	78.76
3. 県支出金	1,260,000	0	0	0	0
4. 繰越金	211,000	0	0	0	0
5. 町債	2,200,000	0	0	0	0
計	12,155,000	5,160,585	5,103,690	56,895	41.99

歳出の部

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支 出 率
1. 総務費	2,573,000	1,131,547	1,441,453	43.98%
2. 水道費	7,836,000	4,110,777	3,725,223	52.46
3. 公債費	1,745,000	62,135	1,682,865	3.56
4. 予備費	1,000	0	1,000	0
計	12,155,000	5,304,459	6,850,541	43.64

3. 47年度代替輸送会計予算執行状況

(単位円)

科 目	予 算 額	調 定 額	収 入 額	残 額	収 入 率
1. 県支出金	1,000	0	0	0	0
2. 繰入金	1,000	0	0	0	0
3. 諸収入	1,815,000	1,246,317	1,246,317	0	68.67
4. 繰越金	1,000	0	0	0	0
計	1,818,000	1,246,317	1,246,317	0	68.55

歳出の部

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支 出 率
1. 民生費	1,788,000	1,230,920	557,080	68.84
2. 予備費	30,000	0	30,000	0
計	1,818,000	1,230,920	587,000	67.71

47年度一般会計予算執行状況

(昭和47年9月30日現在)

歳入の部 (単位円)

科 目	予 算 額 A	調 定 額	収 入 額 B	残 額 (A-B)	予 算 額 対 比 率
1. 町 税	88,900,000	77,159,879	40,442,779	36,717,000	45.50
(1) 町 民 税	17,200,000	19,742,232	7,894,070	11,848,162	45.90
(2) 固定資産税	42,197,000	48,223,550	24,106,480	24,117,070	57.13
(3) 軽自動車税	3,200,000	3,687,600	3,071,080	616,520	95.97
(4) たばこ消費 税	17,500,000	6,170,520	6,170,520	0	35.26
(5) 電気ガス税	5,300,000	2,083,712	2,082,506	1,206	39.28
(6) 木材引取税	3,503,000	3,285,711	1,575,442	1,710,269	44.97
2. 地方譲与税	4,000,000	1,266,000	1,266,000	0	31.65
3. 自動車取得税 交付金	8,000,000	2,590,000	2,590,000	0	33.38
4. 地方交付税	360,453,000	233,770,000	233,770,000	0	64.85
5. 交通安全対策 特別交付金	953,000	0	0	0	0
6. 分担金及負担 金	21,102,000	18,725,770	3,338,200	15,387,570	15.82
7. 使用料及び手 数料	4,206,000	1,215,565	983,825	231,740	23.39
8. 国庫支出金	65,558,000	7,388,707	7,388,707	0	11.27
9. 県支出金	93,608,000	2,514,939	2,514,939	0	26.87
10. 財産収入	566,000	246,522	246,522	0	43.56
11. 寄付金	5,593,000	653,040	636,040	17,000	11.37
12. 繰入金	5,461,000	0	0	0	0
13. 繰越金	20,901,000	0	0	0	0
14. 諸収入	4,613,000	1,999,734	1,993,234	6,500	43.21
15. 町 債	158,600,000	6,200,000	6,200,000	0	3.91
計	842,514,000	359,781,942	316,698,607	43,083,335	37.59

歳出の部

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支 出 率
1. 議 会 費	19,839,000	8,907,008	10,931,992	44.90
2. 総 務 費	114,593,000	58,934,960	55,658,040	51.43
3. 民 生 費	71,166,000	33,884,060	37,281,940	47.61
4. 衛 生 費	44,382,000	27,926,738	16,455,262	62.92
5. 農林水産業費	191,740,000	32,385,863	159,354,137	16.89
6. 商 工 費	2,230,000	1,094,054	1,135,946	49.06
7. 土 木 費	86,885,000	20,894,118	65,990,882	24.05
8. 消 防 費	14,676,000	9,181,378	5,494,622	62.56
9. 教 育 費	197,041,000	75,052,644	121,988,356	38.09
10. 災 害 復 旧 費	54,042,000	13,659,189	40,382,811	25.28
11. 公 債 費	44,724,000	26,005,116	18,718,884	58.15
12. 諸 支 出 金	1,000	0	1,000	0
13. 予 備 費	1,195,000	0	1,195,000	0
合 計	842,514,000	307,925,128	534,588,872	36.55

住民の負担の状況

(9月末大豊町人口12,399人)

科 目	予 算 額 円	予 算 額 対 比 率 %	住 民 一 人 当 り 負 担 額 円
町 民 税	17,200,000	2.02	1,388
固 定 資 産 税	42,197,000	4.95	3,404
軽 自 動 車 税	3,200,000	0.37	259
分 担 金 及 び 負 担 金	21,102,000	2.48	1,702
寄 付 金	5,593,000	0.65	452
計	89,292,000	10.47	7,205

4. 財産地方債及び一時借入金の現在高

1. 公有財産 (1) 土地及び建物

(昭和47年9月30日現在)

単位㎡

Table with 4 columns: 区分, 土地, 建物 (木造, 非木造), 計. Rows include 本庁舎, その他の行政機関, 公共用, 財産, 山林, 教員住宅, 普通住宅, 山間試験場, 計.

(2) 山林

Table with 3 columns: 権利区分, 面積(㎡), 立木推定蓄積量(㎡). Rows include 町有, 分収, 計.

(3) 有価証券

Table with 2 columns: 有価証券, 金額. Rows include 電々公社債券, 高知県信用基金協会, 高知県肉用牛価格安定基金協会, 四国山岳開発公社.

2. 物品

Table with 3 columns: 区分, 現在, 高. Rows include 庁用車, 可搬小型動力ポンプ積載車, 電動計算機, 耐火金庫, 戸籍用耐火キャビネット, 電話交換機, 自動車, 複写機, 給食運搬車, パス.

3. 債権

Table with 2 columns: 貸付金, 金額. Row: 貸付金 1,379,000円.

4. 一時借入金

Table with 2 columns: 一時借入金, 金額. Row: 一時借入金 0円.

5. 地方債の状況

(単位千円)

Table with 5 columns: 区分, 昭和46年度末現在高, 昭和47年度発行高, 昭和47年9月30日現在高, 現在高の借入先別内訳 (政府資金, その他). Rows include 一般単独事業債, 義務教育施設整備債, 辺地対策事業債, 過疎, 単独災害復旧事業債, 補助, 市町村民税臨時減税補てん債, 公有林整備事業債, 県貸付金, 計.

6. 基金の状況

(単位円)

Table with 2 columns: 基金の種類, 基金に属する残高. Rows include 国民年金印紙等購入基金, 大豊町奨学資金貸付基金, 大豊町国民健康保険基金, 大豊町財政調整基金, 大豊町職員の給与等支給調整基金.

長州 志士 富永有隣と土佐

(15)

県文化財専門委員

橋詰延寿

三宅宛とすると

この手紙は、田中光頭(一八四三—一九三九)から三宅謙四郎(一八四四—一九三三)にあてたものと

大石圓捕えられる

た明治三年には建海三宅謙四郎は二十六才であり富永有隣が捕縛されたときは三十四才である。古勤王派に

新聞に入った。明治四十三で田中光頭であろうという

けで年次ははつきりしない。圓は愛媛県に引き渡すとい

先にごだま婦人学級のあも交えてのいきいきとした

たが、私共はさらにこの学級みあげを物語っていた。

この中で、もっと時間をほ

しかたが予定時間を過ぎ

ていたので、名残りを惜し

ながら北公民館を後にし

長崎に学ぶ

(5)

大 利 愛

説明は婦人会館建築の苦